



中江

輝く介護

第3号

2003年(平成15年)
12月5日発行

特定非営利活動法人 かまくら地域介護支援機構
連絡事務所 〒247-0061 鎌倉市台2-8-1 台在宅福祉サービスセンター内
Tel.0467(46)0788 Fax0467(46)0059

『2015年の高齢者介護』を考える

渡邊 武二

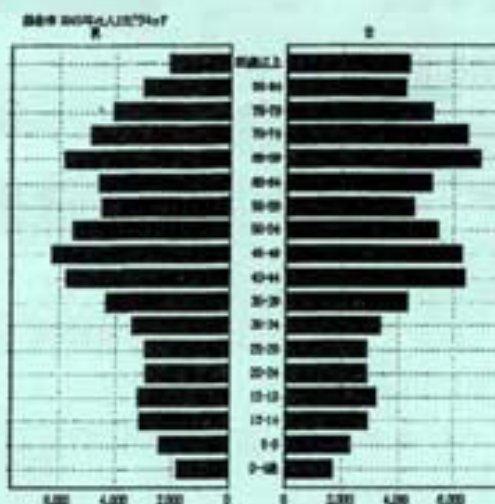
今年の6月、厚生労働省老健局長の私的研究会である「高齢者介護研究会」が2015年までに実現すべき高齢者介護の姿を描いたレポートを発表しました。

タイトルは、「2015年の高齢者介護」副題は「高齢者の尊厳を支えるケアの確立に向けて」というもので、「ゴールドプラン21」以後の新しいプランの指針ともなるものです。2015年は、団塊の世代(1947~49年生まれ)が65歳以上の高齢期をむかえる時期。高齢化率も26.0%になる見通しで、この時期までに実現すべきことを念頭においてこれから求められる高齢者介護の姿を描いたというものです。

特徴点を見てみましょう。報告書は、まず介護保険施行後の見えてきた課題を分析しています。その中では、特別養護老人ホームへの入所申込者が急増したこと、重度の要介護認定者の半数は施設サービス利用していること、在宅生活を希望する高齢者が在宅生活を続けられない状況にあることなどが上げられています。さらに、施設サービスでは、個別ケアの取組みが進み、個人の生活や暮らし方を尊重した介護が広がってきているとあります。要介護者の半数は、痴呆の影響があるにもかかわらず痴呆性高齢者のケアは遅れており、今後の大きな課題であることを指摘しています。事業者選択に関する情報の不十分さ、サービスの質に関して人材育成の課題などがあげられ

ています。

このような課題を受けて、目標として掲げられたのは、『高齢者の尊厳を支えるケアの確立』で、今後は身体ケアのみでなく痴呆性高齢者のケアを高齢者介護の標準にするとして日常生活圏域を基本としたサービス体系の確立に力を入れていく考えを示しています。「小規模な居住空間」「家庭的な雰囲気」「なじみの人間関係」「住み慣れた地域での生活の継続」を確保するためグループホーム、施設の小規模・多機能化などを謳い、地域での仕組みづくりを強調していますが……。



さて、2015年の鎌倉市の高齢化の現状は、人口問題研究所の小地域簡易将来人口推計システムによって推計すると高齢化率は31.6%。どんな地域社会を皆さんは望みますか？

渡辺さんは深沢地域にお住まいで、現在、社会人として大学院で地域福祉を研究されています。支援機構でお願いして寄稿していただきました。

利用者アンケート ご協力ありがとうございました

かまくら地域介護支援機構では、10月中旬から下旬にかけて例年のように「介護保険サービスの利用者満足度調査」を実施しました。要介護度別の無作為抽出で977人を対象に行いました。回答を下された皆様、ご協力ありがとうございました。おかげさまで、約62%にあたる605人から回答をいただき、現在、集計中です。今年度中には集計結果をまとめ、お知らせできる予定です。

ケアマネ連絡会では

かまくら地域介護支援機構に加盟している事業者のケアマネジャーが、情報交換や資質を向上しようとケアマネ連絡会を組織して活動しています。

今年度は、4月から10月まですでに4回開催し、介護保険制度の見直しについて・モニタリングの方法と書式について・神奈川県実地指導報告・苦情相談員との意見交換などのテーマで研修や意見交換を行っています。

介護サービス利用者の皆様は、遠慮なくケアマネジャーにご相談ください。

施設紹介 介護老人保健施設 かまくら

2003年5月、モノレール湘南町屋駅のすぐそばに、「老健かまくら」が開設されました。湘南鎌倉病院が母体の、120床、4階建の施設は11月末現在ほぼ満員になっています。うち41床は痴呆専門棟で、1日20名を対象にしているデイケアも12月からは40名の受け入れが始まります。

総看護師長の三島眞智子さん(写真右)にお話をうかがいました。「ここは生活の場ですから、入所者の方には楽しく過ごしていただきたいと思っています。拘束、車椅子、転倒、褥瘡、おむつなどを無くすため、“夢のゼロゼロ作戦”を職員が協力して展開しています。」

入所者各自のリハビリテーションに力を入れているのがここの特徴



です。専用の機械を利用する“パワーリハビリテーション”を導入し、それぞれの状態に合わせた機能回復訓練を毎日行なっています。

また地域の学生などとの交流も活発に行なっています。「介護の質で選んでいただけるよう、自分が利用したくなるようなサービスを目指していきます。」充実した設備の中で、よりよいケアを追求するという姿勢が印象的でした。



施設の様子がよくわかった！

—あなたにピッタリのデイサービス、見つかりましたか—

去る10月4日(土)午後1時から鎌倉市役所講堂で、「あなたにピッタリのデイサービス、見つかりましたか？—通所介護、通所リハビリ施設案内」と題した市民公開講座が、かまくら地域介護支援機構主催で開催されました。当日の様子や参加された方の感想をご紹介します。

当日の内容は

- ☆通所介護と通所リハビリテーションの違い
(鎌倉市介護保険課)
- ☆施設によるプレゼンテーション(11施設参加)
- ☆施設のパネル展示(鎌倉市内21事業所)



参加者の声は

当日は55人の参加がありました。アンケートに答えてくださった方や会場でのご意見を拾ってみると…。

☆利用者から

- ・ どこにどんな施設があるかわかってよかった。
- ・ 生の事業者の声が聞けてよかった。
- ・ スタッフが利用者一人一人の気持ちを大切に一所懸命対処してくれるのがわかった。
- ・ 資料をもらえてよかった。

☆事業者から

- ・ 他の事業所の様子がわかってよかった。
- ・ 日々の業務に追われ、情報交換できないケアマネジャーにとって、よい機会だった。

今後の企画への期待

アンケートなどには、支援機構の今後の企画についても意見が寄せられています。

- ・ ケアマネと事業者、ケアマネと老人会との交流も企画してほしい。
- ・ 日頃の介護に関する悩みの体験談を聞きたい。
- ・ 金額についての説明がほしい。
- ・ ケアマネジャー、ヘルパーの体験談を聞きたい。
- ・ 事業者同士の情報交換の場がほしい。

支援機構では、いただいたご意見を参考に、これからも市民公開講座などを開催したいと思います。



講座当日に、「通所介護・通所リハビリ施設案内」を配布しました。市内全事業所ごとに施設名・連絡先・営業日・営業時間・対象地域・利用者定員・スタッフの人数・施設の特徴・ひとことPRを記載しています。ご希望の方は、支援機構事務局までご連絡ください。

介護保険サービスの 苦情相談室

お気軽にお電話ください
月・水・金 9:00~16:00
☎ 0467(46)0016

相談員は、介護保険サービス利用者が提供側への直接交渉でトラブルが生じた場合の問題解決のための仲介役。言わば、利用者が施設やサービス提供事業者、行政に直接言いにくい苦情(疑問や不安)に耳を傾け、利用者とサービス提供側との『橋渡し役』を担います。

苦情相談室では、電話などによる相談のほかに、市内介護保険施設を訪問しています。平成14年度には、特別養護老人ホーム・老人保健施設・デイサービスセンターの7箇所に計96回訪問し、延べ654人の利用者から要望・相談・苦情などのお話を伺いました。相談員の心に残ったエピソードをご紹介します。

菩提樹

アンブルネン フォルゲムトーレ…
平成15年夏、まだ施設に慣れない不安な利用者に接した時のことです。その方が、突然ドイツ語で歌いだされたので、じつと耳を傾けました。英語の歌、小唄、長唄と聞くうちに気持ちも落ち着かれ、和やかになられました。年齢は99歳とか。高齢者の話に耳を傾けることも苦情相談の一つです。



窓を開ければ港が見える

ハーモニカボランティアの伴奏に合わせて、小さくつぶやくように「別れのブルース」を最後まで歌われた利用者さん。お互いになっこり笑ったとき、相手の心に寄り添えた気がします。利用者の方から学ぶことも多い相談員の仕事です。

刺し子

木漏れ日の差し込む昼下がり、おやつタイムも終わり、皆さんくつろいでいます。その中で8人のグループが刺し子に熱中しています。リーダーの方が針の使い方、糸の色のアドバイス、針の穴に糸を通す役もやっています。「すごいですね」と声をかけると「慣れですよ」と自信に満ちた声が返ってきました。今ではグループで100枚以上の作品があるそうです。

相談員は、下記の施設を訪問しています。

施設名	介護保険サービスの種類	頻度と相談員の人数
鎌倉静養館	介護老人福祉施設(特養)	月1回、2名
ケアセンター やまざくら	通所介護(デイサービス)	月2回、1名
かまくらしるばーほーむ	介護老人保健施設(老健)	月2回、2名
七里ガ浜ホーム	介護老人福祉施設(特養)	月1回、3名
鎌倉プライエムきしろ	介護老人福祉施設(特養)	月1回、2名
鎌倉幸寿苑	介護老人保健施設(老健)	月1回、2名
ささりんどう鎌倉	介護老人福祉施設(特養)	月1回、2名